

画像強調内視鏡の将来

司会 昭和大学横浜市北部病院消化器センター 榎田 博史
久留米大学医学部消化器病センター 鶴田 修

NBI、AFI などに代表される画像強調内視鏡は消化管病変の発見、炎症の程度の判定、腫瘍・非腫瘍/良・悪性の鑑別、癌の深達度診断などに用いられ有用であるという報告が多い。しかし、画像強調内視鏡を用いた診断は万全という訳ではなく、pit fall が存在するのも事実である。本ワークショップでは上部～下部消化管診断における画像強調内視鏡各々の特性を明らかにした上で、そのあるべき将来像や可能性について討論したい。